

平成22年度第2回東葉高速鉄道活性化協議会 議事録

1 日 時 平成23年1月20日(金) 15:00～15:30

2 場 所 船橋市役所 10階 第2委員会室

3 出席者

(会長) 船橋市	企画部長	金子 昌幸
(委員) 八千代市	総務企画部長	小出 忠行
千葉県 総合企画部	交通計画課長	豊島 輝雄
東葉高速鉄道(株)	常務取締役	春日 敬三
〃	〃	金子 栄
(オブザーバー)		
関東運輸局	鉄道部 計画課長補佐	川上 康弘
東京地下鉄株式会社	経営企画本部 経営管理部	
	課長	榎本 進

事務局：本日の協議会は、委員数5名のうち、委員及び代理の方、5名にご出席いただいております。よって「東葉高速鉄道活性化協議会規約」第9条第1項に定められた会議の開催要件の過半数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

なお、本日、関東運輸局千葉運輸支局より連絡があり、オブザーバーでありませ、関東運輸局 千葉運輸支局 運輸企画専門官、當間様が所用により、欠席とのことでもありますので、ご報告いたします。

議長：それでは只今から平成22年度第2回東葉高速鉄道活性化協議会を始めます。本日は皆様ご多忙の中ありがとうございます。なお、この会議は東葉高速鉄道活性化協議会管理運営規定第3条1項の規定において公開することとします。まず、報告といたしまして、平成22年度の執行状況について事務局より報告いたします。

(事務局から【資料1】及び【参考資料1～4】により説明)

議長：ありがとうございました。それでは、只今のご説明に対して何か、ご質問・意見等ございますか。

千葉県：車両基地まつりがどのような雰囲気であったかを伺いたいのですが。

事務局：来場者は子供連れの家族が多い印象を受けました。鉄道マニアのような方も結構来ておりました。やはり子供が多かった印象を受けました。なかなか開催してよかったなという雰囲気にはなりました。

千葉県：まつりの際にグッズを販売して、どのようなものが売れましたか。何が人気でしたか。

事務局：飲み物がとても人気で足りなくなっていました。また今回は動物専門学校の協力を得まして、動物広場というものを設けてお客さんの分散化を図りました。そういう面で、PRの成果が上がって、子供連れの若いお父さんお母さんに多く参加していただいた印象が感じられました。それから、グッズ販売でございますが、販売していた各鉄道会社にうかがったのですが、かなり全般的に売れたということを知っております。東葉高速鉄道の物販についても、今まで使用してきた部品などを販売させていただきまして、三十数万円ほど売ることができました。また、飲食の関係につきましては、「おやじの会」、「勝田台の地区の団体の方」、「八千代青年フォーラム」等の団体の方々に出店していただきまして、かなり盛況でありました。来場者が全体で想定していた人数よりも約1000人多い4500人という多くの方々にお越しいただいて、事故もなくなごやかな雰囲気で終了したという感想でございます。

議長：他に何かございますか。

関東運輸局：行先表示機というのは、具体的には今資料にある外観イメージ図のような形になるのでしょうか。

事務局：この形になります。

議長：他にございますか。なければ平成22年度事後評価（案）について、事務局長より説明していただきます。

（事務局から【資料2】により説明）

議長：只今の説明に関しまして、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

関東運輸局：2点ほどご質問させていただきたいです。モビリティマネジメントのリーフレット作成ということで、これは昨年度も実施されたかと思うのですが、22年度のアンケートを行って「効果がある」ということで23年度も実施するという事になったのかどうかということと、あと、配布方法に工夫をされているようなことはあるのか、また23年度も実施する予定があるのか、その辺を含めて確認させていただければと思います。

もう一点は、コンコースの行先表示機の設置についてですが、これについてもなかなか効果測定がかなり難しいものがあると思うのですが、判断についての考えがあるのかというあたりをうかがいます。

事務局：モビリティマネジメントのリーフレットの作成につきましては、昨年度から実施している事業です。昨年度にリーフレットを作成した時にはアンケートを行っていなかったというところがありまして、そういったところで、課題をいただいております。その中で、効果の測定というものがなかなかできなかったということで、今年度はそこを踏まえてリーフレットの中にアンケート用紙を入れて効果の測定を考えております。配布方法ですけれども、昨年度はイベントにご来場いただいたお客様にリーフレットを配布させていただきました。今年度につきましては、もちろんイベント等で配布は行っていきますけれども、その他に大型商業施設（イオン八千代緑が丘、村上駅のフルルガーデン）のお客様の約9割の方が、車を利用されてきているということであり、今回のリーフレットの内容といたしましては、車利用の方に対して電車等の公共交通機関を利用して下さいという呼びかけを行っていきますので、大型商業施設等にリーフレットを置かせていただくようお願いをしたいと考えております。モビリティマネジメントについては以上です。

続きまして、コンコースの行先表示機につきまして定量化・数値化ということでございますが、昨年設置しました公設掲示板を設置して、公設掲示板の定量化をどうするかということで私たちは公設掲示板に貼ったポスターの会場に行って、アンケートを実施しました。アンケートの内容として、このイベントはどこで知ったかという質問をし、選択肢に「公設掲示板」を入れております。今回のコンコースの行先表示機というものは、正直申しまして効果測定という定量化・数値化は難しいのでありますけれども、掲載した催し物情報の会場に出向いてアンケートを取ることで、定量化・数値化に結び付け、それを基に効果につながっているかどうかという検証をしてみたいと考えております。

議長：他に何かございますでしょうか。なお、この事後評価につきましては国のほうに提出後、各運輸局から訂正を求められるという場合も考えられます。その際には

事後評価、修正を加えましてまた後日、各委員の方々に確認をいただいて、再度、関東運輸局に提出といったパターンにさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。それではお諮りいたします。事後評価(案)につきまして、ご意見なしということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

議長：ありがとうございます。それではこの事後評価(案)を関東運輸局のほうに提出するということにいたします。

最後に4番目、その他でございますが、まず今後のスケジュールについて事務局から説明があります。

事務局：平成22年度第3回東葉高速鉄道活性化協議会についてご案内を申し上げます。第3回協議会は3月中を予定しており、平成23年度予算案に関することを議題に予定しております。今後、日程調整を行います。委員及びオブザーバーにおかれましては年度末のお忙しい中での開催になりますが、ご出席くださいますようよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

議長：それでは他に何かございますか。

関東運輸局：今、会長のほうからお話がありましたとおり、活性化再生総合事業のスケジュールを簡単にご説明させていただきたいと思っております。2月15日にアドバイザー会議という学識経験者を含めた会議を行うわけですが、その中で事後評価という他の総合事業の関係の評価をこの中で行いまして、訂正があれば協議会にお話をさせていただくことがあるのかなと思います。また、2月末になると思いますが、総合事業の補助金の額の確定の審査を2月の末ぐらいに行いたいと考えております。その報告でありました。以上です。

議長：ありがとうございました。他に、よろしいでしょうか。

なければ、これをもちまして平成22年度第2回東葉高速鉄道活性化協議会を閉会といたします。本日はみなさん、ありがとうございました。